

23-10-31

ドローンによる医療コンテナへの医療物資輸送の実証実験を実施します

名古屋鉄道は、愛知県から受託した「あいちモビリティイノベーションプロジェクト『空と道がつながる愛知モデル 2030』実証実験業務」の一環として、「医療コンテナへの医療物資輸送」をテーマとした実証実験を実施します。

記

1.実施体制

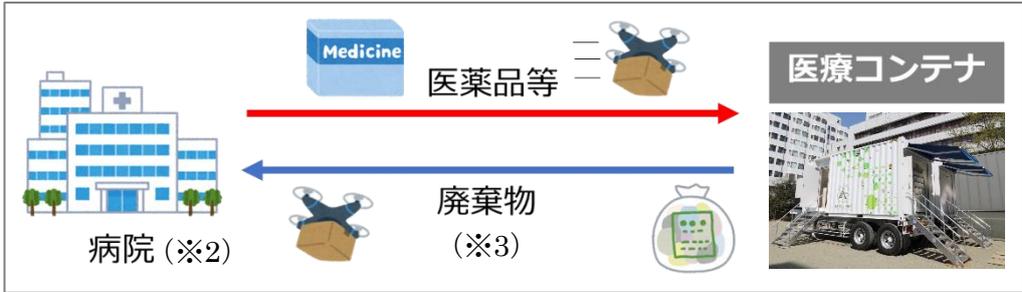
- 委託元：愛知県（あいちモビリティイノベーションプロジェクト『空と道がつながる愛知モデル 2030』実証実験業務）
- 実施事業者：名古屋鉄道株式会社
- 協力事業者等：株式会社プロドローン（機体提供および運航等）
愛知医科大学病院（医療コンテナ提供等）
豊田市（実証実験協力）

2.実施日時

11月15日（水）10：30から

※荒天の場合は予備日（11月16日（木）11：00から）に順延します。

3.実施内容

実証テーマ	医療コンテナへの医療物資の往復輸送
実験内容	<p>災害時やイベントで活用される医療コンテナ（※1）とドローン輸送を連携させる実証実験を行います。医療コンテナの長期間設置による医療物資の不足などを想定し、ドローンで医薬品などの補充を行うとともに、廃棄物に見立てた物を回収する往復輸送を実施します。</p> <p>この実証実験では、医薬品の輸送を通して、高付加価値品におけるドローン輸送の安全性や品質保持の適正性の検証を行うとともに、往復利用による運用効率化を検証します。</p> <p><事業モデル></p> 

- ※1 医療コンテナは、災害時やイベント時に医療提供を行うための設備で、診察や治療に必要な機材が配備されています。2023 年度から愛知医科大学病院が導入しており、感染症患者等への発熱外来としても活用が可能です。なお、実証実験で使用する医療コンテナは、愛知県医科大学病院が「フォーラムエイト・ラリージャパン 2023」開催に向けて、具合の悪くなった観客やスタッフの診療を行うために三河湖スペシャルステージ付近に設置したものを使用します。
- ※2 検証当日は病院に見立てた拠点からドローンが離着陸します。
- ※3 検証当日は廃棄物に見立てた物を輸送します。

飛行経路

【実施エリア】愛知県豊田市和合町日向～羽布町川合



※赤線が飛行予定経路

【使用予定のドローン】

製品名:PD6B-Type3(プロドローン製)
 機体サイズ:2,169mm×2,387mm
 重量:約 20kg(バッテリー搭載時)
 最大飛行時間:最大約 28 分
 最大風圧抵抗:12m/s



本件は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」(2021～2023 年度)の重点テーマに掲げる「交通事業の構造改革」および「今後成長が見込まれる分野の収益力強化による収益構成の見直し」の「先端技術を活用した取組みの推進」の一環として取り組むものです。